

『みんなのねがい』を読むには…

●一人から始める

個人年間購読を申し込んでいただければ
郵送でお届けします。

『みんなのねがい』購読料	
書店注文	1冊 定価 715円 (本体650円+税)
個人購読	年間 9,400円 (税・送料含)

●みんなで読めば

2冊以上とれば、「まとめ購読」。まとめ価格で送料無料でお届けします。

●書店、セブンイレブンでも申し込みできます

毎月(16日発売)お店で受けとることができます。

お申し込みに必要な雑誌コード番号は「08441」です。

●見本誌無料で送ります

見本誌をお送りする方

お名前 お電話

ご住所 〒

ご紹介者のお名前 お電話



見本誌希望
はこちら！



購読申込用紙

お名前 (ふりがな)

送り先ご住所 〒

お電話

①みんなのねがい () 月号から 個人年間購読を申し込みます

②みんなのねがい () 月号から まとめ購読 () 冊を申し込みます

お申込・お問い合わせは

全障研出版部 電話 03-6265-0193
FAX 03-6265-0194

〒162-0801 東京都新宿区山吹町4-7 新宿山吹町ビル5F

ホームページ www.nginet.or.jp

こちらからも
申し込みできます！



障害者の権利を守り、発達を保障するために

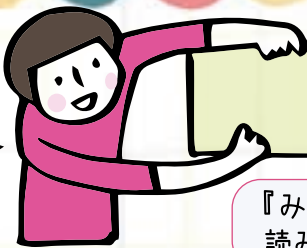
みんなの ねがい 2025



あなたとわたしの本音に出会える 実践・暮らし・運動をはげます

1970年に創刊された『みんなのねがい』には障害のある人やその家族、実践者など、さまざまな人のねがいや希望、ときには、心の葛藤がつまっています。あなたの生活にそっと寄り添う、やさしくあたたかみのある一冊でありたいと思っています。
塚田直也(『みんなのねがい』編集長)

連載者
に聞くと！



2025年度 『みんなのねがい』の読みどころ



『みんなのねがい』は障害児教育、福祉、家族のねがいがつまった障害者問題の月刊誌。読みやすくやさしい、そして障害のある人や子どもたち、家族、関係者をつなぐ雑誌です。

ソーシャルワークという実践の意味と価値を問い直す

一度しかない生活を支え、人生に寄り添い、かけがいのない生命を共に輝かせるために

木全和巳さん（日本福祉大学）

私は「ソーシャルワーク」という、こなれた日本語にすることがむずかしい輸入されたこのカタカナ言葉に、なぜかずっとこだわってきました。63歳になる今でも私の大切なアイデンティティとして、どこでどんな仕事をしていても、そこに労働に見合う金銭的な対価があってもなくても、ソーシャルワークってなんだろうと問い続けています。そして、一人のソーシャルワーカーでありつづけたいと願い、思いがけない出会いと小さな成果にはげまされつつ、たくさんの後悔や失敗をしながらも、それでもなんとか自分なりのつたない実践や活動や社会運動を続けてきました。予測不可能な混迷の時代と社会の中で改めてソーシャルワークという実践の意味と価値を問い直してみたいと思います。



福祉

子どものミカタ

安藤史郎さんほか
（児童発達支援センター職員）

ゆっくりと語りかけ、子どもの応じようとする気持ちに耳と目、心を傾ける。ふと子どもの心に入れてもらった時、「あー、そんなこと思ってたんだ」と、思いの奥深さや彩り、ゆたかさに出会う。その一瞬で、子どもってステキ！保育って楽しい！と心が揺さぶられます。

この連載ではさまざまな分野の実践者が、子どもや障害のある人のキラッと光る瞬間について連載します。いろんなミカタで子どものねがいに会ってみませんか。



発達

実践にいかず障害と医療

精神障害の理解と支援

安藤佳珠子さん（日本福祉大学）

発達障害という言葉が障害福祉分野で広く認知されるようになり、精神障害に関する用語も私たちの生活により身近なものとなってきました。しかし、私たちはどの程度、精神障害について正しく理解できているのでしょうか。

本連載では、精神障害の基本的な知識から、実際の支援現場での課題、そして精神科医療との適切な関わり方まで、幅広い視点から解説していきます。支援者として、また一人の人間として、精神障害への理解を一緒に深めていきましょう！



障害

読みどころてんこ盛り

2025年度の『みんなのねがい』

新4月から
いっぱい連載が
よ



ねがいさん

はじめの一步

—学校編—

はじめて出会う子どもたち。日々の支援にとまどうこともあるでしょう。そのとまどいや悩みこそ、教師として大切な「はじめの一步」です。

表紙



人の人のつながり、あたたかさを、写真を通して伝えてもらいます。

土佐 和史さん
(写真家)

新連載!

暮らしの場は今

グループホームや入所施設の実践を通して大切にしたいことを考えます。暮らしの場をめぐる時事問題も取り上げます。

新連載!

シリーズ 18歳

さまざまな環境が大きく変わる18歳。暮らし、生活、学び、医療、保護者の立場からなど、多面的な角度から掘り下げます。

好評連載!

心に種をまく

～世界、日本で起きていること

フォトジャーナリスト・安田菜津紀さんによるエッセイ。いま、世界で、日本で起きていることを知るために。



新連載!

息子と歩く 千葉桜 洋さん (写真家)



私自身聴覚障害がありますが、今年25才になる息子が重度知的障害及び自閉症で、付き添いの傍らで撮影したモノクロフィルムプリントを通して、父親と息子の視線がそれぞれ重なっていく様子を綴っていただけらと思っています。

手記

この子と歩む

『みんなのねがい』といえはこの連載! 障害のある子と歩む家族の物語です。

『みんなのねがい』の『ココが好き』がLOVE



職場ですすめてもらったことがきっかけで読み始めました。たくさんの方々の言葉や思い、ねがいにふれることで新たな考え方や発見、学びがあります。職場の先生方とは、『みんなのねがい』と一緒に読み合わせ、普段、ゆっくり話せないことや互いの思いを共有しながら語ることが出来ます。あわただしく過ぎていく毎日の中で、一度立ち止まり、あらためて大切にしたいことや自分の保育を振り返るきっかけとなり、みんなの良き未来に向かってがんばろう!と奮い立たせてもらえる『みんなのねがい』です!!



広島 長岡美晴さん(児童発達支援センター職員)

30年前に職場で『みんなのねがい』に出会いました。その後、障害のある息子を育てる中、いつも『みんなが』に励まされ、勇気ももらってきました。大事にすることは何なのか、いつも私に教えてくれる人生のバイブルとなっており、毎月届くのが楽しみです!『みんなが』のぶれない発達保障の視点を一人でも多くの人に知ってほしいです。



埼玉 白井道代さん(家族)

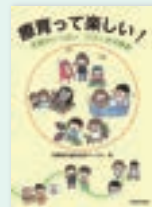
『みんなのねがい』連載が単行本に!
全障研出版部 おすすめ書籍紹介

『みんなのねがい』とWEB連載「もう一つの発達のなかの煌めき」二刀流連載に大幅加筆した渾身の上巻。発達と発達保障を本気で学ぶ一冊!



白石正久(龍谷大学名誉教授)・白石恵理子(滋賀大学)文・写真『発達のなかの煌めき 上 子ども・障害のある人びとの発達』本体2000円+税

「療育って楽しい!」と思えるような療育づくりを、保護者とともに数々の実践と運動を紡いできた広島からのメッセージ。読めば明日の療育が見えてくる。

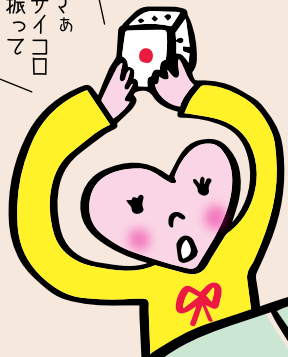


『療育って楽しい!』仲間がいっぱいひろしまの療育! 全障研広島乳幼児サークル 編 本体1500円+税

注文はこちら→



スマホ
振って
サイコロ

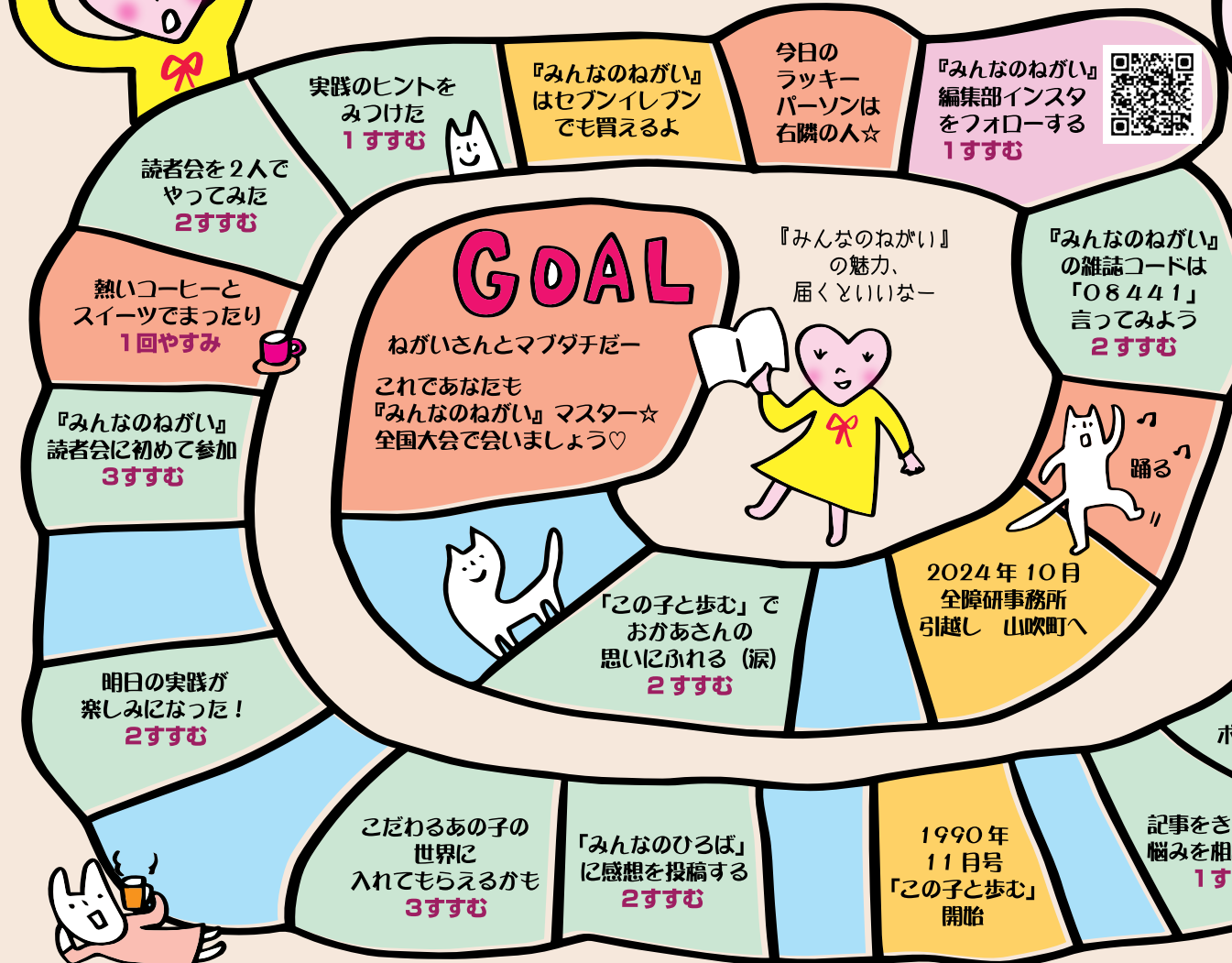


みんなのねがいすごろく

「で、みんなのねがいってなに？」という人に！
『みんなのねがい』を読むとどうなるのが、1マス進むたびに
見えてくる「ねがいすごろく」！

START

- ① 2人以上であそんでね
- ② サイコロや、えんぴつに数字を書いて準備完了♪



1970年『みんなのねがい』創刊



KOSHINO

『みんなのねがい』はいつからでも定期購読ができるよ



TSUKADA

2人以上で購読するとお得になる♪

こどものキラッとポイントを発見できそう 2すすむ



NEGAI-SAN

全障研越野委員長、みんなのねがい塚田編集長、ねがいの新キャラねがいさんを切り抜いてコマとして使ってもいいよ♪